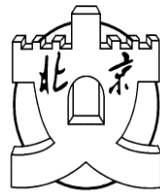


かささぎ



北京日本人学校
学校通信第3号
平成30年6月29日
校長 栗本 和明

あなたはなぜ勉強するのですか？

北京日本人学校 教頭 山中 正明

北京日本人学校に来て1年2ヶ月、児童・生徒たちを見ていて感じることは「本当によく勉強する子どもたちだ」ということです。中学部の生徒はもちろんですが、小学部の低学年の子どもたちも、学ぶ意欲がとても旺盛です。そんな子どもたちに指導できることを誇りに思い、先生方はもっともっと素敵な授業を追い求めなくてはならないと思います。

ある中学校の校長先生が中学3年生の面接練習で質問しました。

校長：「あなたはなぜ勉強するのですか？」

生徒：「はい。勉強していい高校に入るためです。」

校長：「いい高校に入ってどうするのですか？」

生徒：「いい高校から、いい大学を目指します。」

校長：「いい大学に入ってどうするのですか？」

生徒：「いい大学を出て、いい会社に就職します。」

校長：「いい会社に入ってどうするのですか？」

生徒：「いい会社に入って一生幸せな人生を過ごしたいと思います。」



この面接をして、校長先生はとても残念に感じたそうです。何のために勉強するのか？誰でも一度は悩むこの質問に、この生徒からは期待する答えが返ってこなかったからです。人生の目標が「幸せな一生」であることはとても大切なことです。これが悪いことなのではありません。この生徒の回答の中には「自分のこと」しか出てこなかったことが残念だったのです。自分の幸せを追い求めると同時に、「人のために役に立つ自分になりたい。」このような気持ちはなかなか湧いてこないものなのではないでしょうか？学校教育の中で子どもたちに育てたい、身につけさせたいものに「自己肯定感」や「自己有用感」といったものがあります。誰かのために役に立つ人になりたい。そして、役に立って感謝されたときの気持ちを一人でも多くの児童や生徒に味わってほしいと思います。学校の教育が目指している子どもたちの姿は、国内でも在外でも同じです。北京日本人学校の子どもたちは、人の役にたつことの喜びを知っている子どもたちばかりだと信じています。

社会の変化は大変激しく、10年、20年前の社会からどんどん変わっています。学歴や学校歴だけで幸せな人生が約束されていた時代はずいぶん前に終わってしまいました。これからの社会を担っていく若者に求められる力は何なのか？「生きる力」と呼ばれている力もその力の一つです。そんな力をつけることが今の学校教育に求められていることです。国語や算数（数学）の力だけでなく、今の子どもたちが幸せな人生を送れるようにするための力をつけるために、毎日の学校生活の中で行っている清掃や係活動、委員会活動、さらに校外学習や宿泊学習で学ぶ多くの事柄が重要になってきます。そして一人一人の行動の基準となる道徳的な価値観。教科化された道徳の学習だけでなく、すべての教育活動の中でそれらのものを育てていかななくてはなりません。この機会にご家庭でもぜひ一緒に考えてあげてください。「あなたはなぜ勉強するのですか？」

2年生のニュース

小学部 2年生

2年生は、生活科の学習に一生懸命取り組んでいます。6月7日（木）には、校外学習で大興区にあるスイカ農園と博物館に行ってきました。畑に着くと、まず、スイカを売り出している露店が道にずらっと並んでいることにびっくり。博物館では、スイカは中国から遥か西のエジプトから伝来したこと、スイカの種類には100種類以上もあることなど、仰天の事実を知ることができました。他にも展示物などから学び、スイカのことをより身近に感じられるようになりました。何よりも実際に自分でスイカを選び、収穫した経験は、子どもたちをスイカの大ファンにさせました。事後学習として、採ったスイカで「スイカパーティー」もしました。「スイカが大きくなるのに4か月もかかるんだって…」校外学習で農家の方々から伺ったことを思い出しながら、美味しくいただきました。また、学校で育てているミニトマトも赤く色づき、収穫ラッシュを迎えています。サツマイモも、葉を日々大きく茂らせ、成長を知らせてくれています。季節の移り変わりを肌で感じながら、今後の生活科の学習にも取り組んでいきたいと思ひます！



「スイカが大きくなるのに4か月もかかるんだって…」校外学習で農家の方々から伺ったことを思い出しながら、美味しくいただきました。また、学校で育てているミニトマトも赤く色づき、収穫ラッシュを迎えています。サツマイモも、葉を日々大きく茂らせ、成長を知らせてくれています。季節の移り変わりを肌で感じながら、今後の生活科の学習にも取り組んでいきたいと思ひます！

修学旅行を終えて

中学部 2年生

5月22日（火）～25日（金）の4日間、中学部2年生は修学旅行に行ってきました。目的地は少林寺・洛陽方面。まず、参加者全員が大きな怪我なく帰って来られたことに安心しております。少林武術、そして禅宗の発祥の地として名高い少林寺では、武術学校の学生に直接指導してもらえらという大変貴重な経験をしました。その他にも、仏教伝来の地である白馬寺、国内最大級の石像大仏のある龍門石窟、美しい唐三彩の絵付け体験など、歴史文化都市洛陽ならではの経験をたくさんすることができました。

学習内容もさることながら、今回は「自立」をテーマとして修学旅行を企画しました。行程以外の全ての部分について、生徒自身が考え、議論し、考察と反省を繰り返しながら臨んだ4日間。全てが上手くいったわけではありませんが、今回の取組を通してまた一回り成長しました。ここで得た力が、今後の中学校生活に生かされることを確信しています。



親子読書週間を終えて



小学部では、5月17日から5月23日までの一週間、親子読書を実施しました。家族と一緒に本を読んだり、友達におすすめた本を紹介したりしました。読書カードがずらりと並ぶ廊下では、立ち止まって友達のカードを眺めている子の姿が見られ、さっそく友達がおすすめた本を借りていた子もいました。

また、北京にいる私たちにとって日本の本はとても貴重です。そんな本が、北京日本人学校の図書室にはたくさんあります。この親子読書をきっかけに、本への関心を高め、様々な本に触れる機会が増えたら嬉しいです。保護者の皆様にもご協力いただきありがとうございます。親子読書週間は終わりましたが、これからもお家で一緒に本を読む時間を大切にしていきたいと思ひます。

たぐいま 何人？

小学部 平成30年6月26日現在

	男子	女子	合計	男子	女子	合計	
1-1	7	8	15	4-1	17	11	28
1-2	7	7	14	4-2	17	10	27
1-3	6	8	14	5-1	12	5	17
2-1	12	10	22	5-2	12	6	18
2-2	11	11	22	6-1	12	10	22
3-1	11	15	26	6-2	11	11	22
3-2	10	16	26	小総計	145	128	273

中学部

	男子	女子	合計	男子	女子	合計	
1-1	5	4	9	3-1	7	6	13
1-2	6	5	11	3-2	6	6	12
2-1	10	6	16	中総計	44	32	76
2-2	10	5	15	総合計	189	160	349